



まちの話題

神埼消防署救助隊九州大会出場

7月23日、大分市で「第39回九州地区消防救助技術指導会」が開催され、神埼消防署からも県大会の激戦を勝ち抜いた「障害突破」と「引上救助」の2チーム、計10人が出場しました。

この大会は消防救助技術の向上を目的に毎年開催されており、各県の大会を勝ち抜いた代表チームが全国大会出場を目指し、日頃培った安全・確実・迅速な救助技術を競うものです。

両チームとも訓練の成果を發揮しましたが、念願の全国大会出場はなりませんでしたが、訓練期間中に消防署見学に来署された園児や小学生の力強い声援は、隊員にとって、より一層の励みになりました。



十間連企業が進出

佐賀県内の企業や自治体向けに、調達・維持・運用管理など各種ITサービスを提供する株式会社佐賀IDC(本社佐賀市)が、神埼市に事業所を開設することとなり、7月23日に市と進出協定を締結しました。

調印式では、浅川達夫社長が、「企業市民として、地域の皆さまのお力添えも頂きながら、事業拡大を図りたい」と抱負を述べられました。

同社は、県内の主要IT、通信、金融企業の出資により設立され、現在、佐賀市を拠点に操業されていますが、今回、新たに神埼町内にある空き事務所を活用して施設を開設、今後地元はもとより、首都圏などでも積極的な営業活動を展開されるということです。

今回の企業進出により、神埼市誕生後の誘致企業は5社となりました。

中国の中学生が相次ぎ来訪

7月14日、無錫市積余实验学校と無錫羊尖中学の先生と生徒39人が、脊振中学校を訪れ、国際理解を深めました。

記念品交換の後、脊振中からは剣道の型と合奏、無錫市の生徒からは楽器演奏が披露されました。

その後、学年ごとに交流会を開き、互いの質問に答えるなど楽しい時間を過ごしました。



烈欢迎各位光临九州

また、7月16日には、中国大連市第80中学1年生16人が神埼中学校を訪れ、神埼中学校1年生164人との間で交流会が行われました。

お互いに学校の校歌を歌ったり、剣道の型を披露したりしました。また、七夕飾りを一緒に作り、思い出に残る時間を過ごしました。

中国山西省の中学生と交流

8月2日から6日までの5日間、津山剛教育委員長を団長とする脊振中学校の生徒代表6人と引率4人の計10人の友好交流訪中団が、中国山西省太原市にある山西大学附属中学校を訪れました。

この交流は、青少年赤十字の実践目標の「国際理解・親善」により始められ、姉妹校締結をして22年目となります。

交流会では、生徒会長の井上晶仁くんが「これからも両校の友好交流が続き、日中友好の架け橋となることを願っています」と中国語であいさつ。交流会の後には生徒がホームビジットで中国の一般家庭での交流を持ちました。生活文化、食文化などさまざまな中国文化を体で感じ取ることができました。



3大夏祭り にぎやかに

企業・団体の総踊り
長崎街道かんざき
宿場まつり



7月24日、神埼町の榎田宮・長崎街道沿いを会場に「第16回長崎街道かんざき宿場まつり」が行われました。
午前中に、ふれあい街道ウォーク、ハンギー体験コーナーなどが、夕方からは、長崎街道沿いを歩行者天国にして、市民参加の総踊りやフリーマーケット、ステージイベントなどが行われ、多くの人で賑わいました。



夕方のオープニングを飾る街頭パレードでは、吉野ヶ里歴史公園のキャラクター「ひみか」などのゆるキャラ6体に続き、市内の企業・団体から約300人が参加した総踊りが行われました。総踊りは、神埼町4丁目の西木戸口から1丁目の赤レンガ広場までを、昨年作られた神埼市の音頭「よかね神埼」にあわせて踊り、祭りムードも一気に高まりました。
ステージイベントでは、4月から始まった神埼市のラジオ番組「MY DEAR 神埼」の初めての公開収録もあり、イントロクイズなどで会場を沸かせました。
また、榎田宮祇園祭も開催され、子どもみこしが神埼町内を練り歩き、祭りを盛り上げました。

ハンギー激漕 城原ハンギーまつり

第1回城原川ハンギーまつりが、8月7日、千代田町の福祉センター前城原川河川敷をメイン会場に行われました。

昨年までは「堀デーちよだ」の名称で親しまれていたイベントですが、今年から神埼市のシンボル城原川を名称に取り入れ、新たに再出発しました。

今年のキャッチフレーズは、「よく晴れた日は、魚になりたい人集合!!」で、ハンギー競漕には、市内外から約300人が参加。思うように進まないハンギーに苦戦しながら、熱戦を繰り広げました。



子どもたちの歓声 わんぱくまつり

8月15日、脊振町の高取山公園で「第13回わんぱくまつり」が行われました。

今年も夕方5時に開幕。ヤマメのつかみ取り、ラムネの早飲み競争、アイスクリーム早食い競争などの子ども向けイベントでは、子どもたちの元気な歓声が響いていました。



今年から新設された神埼市長賞競漕では、千代田町の「転覆せんぞー1号チーム」が優勝し、初代チャンピオンの座に輝きました。また、ハンギー競漕の横では、サブアトラクションとして飛び込みターザンや川のつり橋、カヌー体験なども行われ、子どもたちの歓声が響きました。

夕方からのステージイベントでは、親子ふれあい総おどりや千代田西部小マーチングバンド部、千代田中学校吹奏楽部による演奏などで盛り上がり、イベントのラストは、花火が夜空を彩りました。



また、脊振中学校の3年生が、4月から毎週2時間の起業家教育の授業を通して企画し、地元企業と開発した豆乳プリン、マフィン、クッキーアイスクリームのお店を出店。商品の良さをアピールしながら販売し、売れ行きも上々でした。

後半は、脊振町在住の演奏家によるオカリナ・ギター演奏や尺八演奏があり、来場者を楽しませました。
フィナーレは花火大会で、観客は、鮮やかに彩られた夜空に魅了されていました。

真夏の軟式野球大会



【Aパート】優勝・・・二子(前列)、準優勝・・・岩田(後列)

7月25日から29日にかけて、平成22年度神崎市軟式野球大会(神崎市体育協会主催)が市内の各グラウンドで行われました。

市内から26地区、約4000人が参加し、2パートに分かれてトーナメント戦を行いました。

両パートともに、選手は真夏の暑さに負けず、活き活きしたプレーで熱戦を繰り広げていました。

大会結果は次のとおりです。

【決勝試合結果】

○Aパート	1	2	3	4	5	計
岩田(神埼町)	2	1	5	0	0	8
二子(神埼町)	3	1	1	3	1×	9

○Bパート	1	2	3	4	5	計
本堀(神埼町)	2	0	2	7	0	11
大島(千代田町)	0	0	0	1	1	2



【Bパート】優勝・・・本堀(前列)、準優勝・・・大島(後列)

千代田中、九州大会でも位!

8月12日、千代田中学校軟式野球部とソフトボール部が九州中学校体育大会の入賞報告に訪れました。

軟式野球部は、8月10日、11日に大分県で行われた大会で、準決勝では託麻中(熊本県)に破れるも、3位決定戦で多良木中(熊本県)に6対3と逆転勝利し、全国大会出場を決めました。

ソフトボール部は、8月6日から8日まで福岡県で行われた大会で、準決勝で帯山中(熊本県)と戦い、7点差を追い3点差まで縮めるも一歩及ばず、3位となりました。

報告会では、軟式野球部の福田海晴主将が、「全国大会でも持ち味の全員野球を見せていきます」と、ソフトボール部の西村千笑主将が、「全国大会に行くことはできませんでしたが、選抜大会ではがんばります」と、それぞれ意気込みを話しました。

千代田中学校軟式野球部は、8月19日から22日まで岡山県で行われた第32回全国中学校軟式野球大会へ、ソフトボール部は、8月27日から29日まで熊本県で行われた第7回九州各県対抗中学生選抜ソフトボール大会へ出場しました。



▲九州選抜大会に出場した千代田中ソフトボール部



▲全国大会に出場した千代田中軟式野球部

日の隈公園一帯を美しく

7月31日、日の隈公園とその周辺で、公園周辺の建設業者を中心とする作業ボランティア団体「日の隈愛郷会(山口義文会長)のメンバー40人による清掃活動が行われました。

清掃活動は4年前から実施されており、今回で8回目。この日は、猛暑の中での活動となりましたが、遊具周辺や登山道などをきれいに清掃されました。

山口会長は、「日の隈公園周辺の環境美化活動を通し市に貢献したい。郷土のすばらしい自然や環境を保全することが目的であり、今後も活動していきたい」と話されていました。



コミュニティ助成事業 藤西・莞牟田地区で完了

平成22年度のコミュニティ助成事業で採択を受けている4団体のうち、次の2団体で事業が完了しました。

【藤西】・・・屋外放送施設整備
（一般コミュニティ助成事業）



【莞牟田】・・・消防用資機材整備
（自主防災組織育成助成事業）



ラジオ番組「MY DEAR

神埼」

毎週水曜日、昼12時からFM佐賀で放送中

詳しくは、神埼市役所

市長公室（☎3710102）まで

これらの事業は、（財）自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うことを目的に実施されています。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

水門等操作で永年功労賞

7月27日、寺町正人さん（千代田町）が、国土交通行政功労賞を受賞されました。

寺町さんは、20年にわたり詫田第2樋管（田手川）の操作に従事し、毎年梅雨や台風期に、昼夜の別なく身の危険を省みず職責を全うされ、地域を災害から未然に防ぎ、施設の管理に大いに貢献された功績が認められ、この度の受賞となりました。



消防団献血活動で 厚生労働大臣表彰受賞



神埼市消防団南部隊が長年にわたる献血活動により厚生労働大臣表彰を受賞しました。

南部隊（旧千代田町消防団）では、昭和40年頃から消防団の献血活動に取り組みられています。受賞にあたり吉田貴大南部隊長は、「病気やケガの治療が必要とされる患者さんのため、団員として誇りを持って今後も続けていきたい」と話されていました。

今年度の献血活動は、9月5日に千代田総合支所で実施される予定です。

少年野球チームが漂着ごみを掃除

7月15日、前日の大雨で河川が増水し、ごみが漂着した筑後川運動公園を「佐賀ドリームス」のメンバーが清掃活動を行いました。

「佐賀ドリームス」は、神埼市や対岸の久留米市を含む周辺の中学生で構成した硬式少年野球チームです。いつも公園のグラウンドで練習していることから、「お世話になっていているグラウンドに恩返しをしたい」と、練習前にほうきや松葉かきを手にし、漂着した小枝や枯れ草などを集めて二輪車で運び、きれいに清掃を行いました。



口蹄疫被害に義援金

神埼市では、宮崎県で発生した口蹄疫（家畜の伝染病）で被害を受けた畜産農家を支援するため、義援金145,465円を、7月29日、佐賀県共同募金会に預託しました。

この義援金は、6月1日から7月20日まで、本庁と各総合支所に設置していた募金箱に集まったものと市職員から募ったものです。

皆さまからいただいた義援金は、県共同募金会を通じて、口蹄疫被害者のために使用されることとなります。ご協力ありがとうございました。



「神埼そうめん」勝利！

神埼市と小城市が協賛しているFM佐賀のラジオ番組「MY DEAR 神埼」と「I LOVE OGI」との間で、「夏に食べたいもの」の人気投票が行われました。

番組では、「神埼そうめん」と「鯉のあらい」が対決。募集は、7月の一ヶ月間行われ、見事「神埼そうめん」が勝利しました。